



令和6年3月22日
 大津市立瀬田南幼稚園
 園長 平木 秀樹

年少組・年中組のご修了、おめでとうございます！

今日は第3学期終業式及び年少組・年中組修了の日です。昨年4月の入園・進級当初の姿を思い出してみると、この1年の間に子ども達は随分と成長してくれたなあと感じます。自分のことで精一杯だった子どもたちも友だちに思いをかけたり、クラス意識をもっているいろいろなことに取り組んだりできるようになってきました。4月からはひとつ大きな学年となります！それぞれの子どもたちがどんなお兄さん・お姉さんになってくれるのか、とても楽しみです。

いろいろな人にお世話になって

子ども達は、幼稚園生活の中でいろいろな人にお世話になって大きくなってきました。

入園したての頃は、ボランティアめばえさんに着替えを手伝ってもらったり、トイレに連れていってもらったり、不安な気持ちを受け止めてもらったり……。みなみっこ紙芝居教室の方たちには、2ヵ月に一度、楽しい紙芝居を見せていただきました。更生保護女性会の方にはきれいなお花の苗をいただいて、ばんだ組さんが一緒に植えたりもしました。保育園の先生達とは交流で一緒に遊んだり、調理の先生にはカレーやいろいろなおいしいものを作っていただきました。家庭生活においても様々な人に温かい思いをかけてもらい、お世話になってきたことと思います。

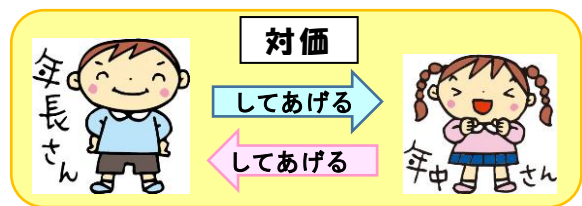


紙芝居教室では、毎回、楽しいお話に触れさせていただきました。

自分一人で育ってきたのではなく、お家の方はもちろんのこと、いろいろな人にお世話になって大きくなったのだということを知り、感謝の気持ちをもつということは、子ども達にとってとても大切なことです。そして、その気持ちが、子ども達の“自尊心”や“人を思いやる心”につながっていくのだと思いますし、そのことに気づけるように身近な大人が働きかけていくことが何よりも大切です。

感謝の気持ちを次へ送る

現代は、いろいろな面で「対価」という考え方が幅をきかせて、人との関係においても「〇〇してくれるから、△△してあげる」「得か損か…」という意識が強くなってきているのではないかと感じます。しかし、これが人間関係の基準になってしまうのは悲しいことです。



幼稚園が願っていることは、子どもたちが様々な人とのかかわりの中で、人から思いを掛けてもらったことに対する喜びと感謝の気持ちを抱いてそれを自分の心にとどめ、いずれ自分もまた周りの人たちに思いがかけられるようになっていくこと(温かい思いの連鎖)です。(もちろん、感謝の気持ちを伝えることも大切にしています。)



ぜひ、新ばんだ組・そら組の子どもたちにも、新しく入園してくるさくら組さんに優しくかかわれるお兄さん・お姉さんになってほしいと思っています。

この一年間、行き届かないことも多々あったことと思いますが、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

4月から、また元気な笑顔で登園してきてくださることをお待ちしております。